

第166回運輸政策コロキウム ～ワシントン・レポートXXⅢ

アメリカ航空産業の現状と今後の展望／米国主要空港における適切なゲート割り当てのあり方について

○日 時：2026年9月29日（火）10:00～12:00

○会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）



○プログラム

【開会挨拶】

10:00～ 佐々木 良 一般財団法人運輸総合研究所 専務理事
ワシントン国際問題研究所長・アセアン・インド地域事務所長

【第1部】アメリカ航空産業の現状と今後の展望

10:15～

発表者 山下 庸介 ワシントン国際問題研究所 次長/主任研究員

【第2部】米国主要空港における適切なゲート割り当てのあり方について

10:40～

発表者 中村 由季子 ワシントン国際問題研究所 研究員

【コメント】

11:20～

コメンテーター 加藤 一誠 慶応義塾大学商学部 教授

【Q&A・総括・閉会挨拶】

11:40～

コーディネーター 屋井 鉄雄 一般財団法人運輸総合研究所 所長

登壇者のご紹介



発表者

山下 庸介 ワシントン国際問題研究所 次長/主任研究員

<略歴>

2011年、国土交通省入省。入省以降、社会資本整備、住宅・不動産、PPP/PFI、高速鉄道の海外展開、外航海運、経済安全保障政策等に関する業務に従事。2025年7月より運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所に出向し、2026年7月より現職。専門は、航空、海事及び経済安全保障。

2011年早稲田大学政治経済学部卒、2016年シカゴ大学公共政策大学院修了（公共政策学修士）、2025年ジョンスホプキンス大学高等国際問題研究大学院ライシャワーセンター客員研究員。



発表者

中村 由季子 ワシントン国際問題研究所 研究員

<略歴>

2008年、成田国際空港株式会社入社。旅客ターミナルビルの運営管理、着陸料等の空港使用料の料金政策や徴収管理、空港利用者向けアプリの企画・開発、LCCの利用促進、国際事業、グループ経営業務等に従事。2024年10月より運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所に出向、米国を中心とした航空・空港分野における政策や最新動向についての調査研究に従事。2008年東京外国語大学外国語学部卒。



コメンテーター

加藤 一誠 慶応義塾大学商学部 教授

<略歴>

1964年生まれ。1987年同志社大学経済学部卒業。1992年同志社大学大学院経済学研究科博士課程退学。2002年博士（経済学）。関西外国語大学、日本大学を経て、2015年より現職。日本交通学会副会長、国土交通省交通政策審議会委員（観光分科会長・航空分科会・陸上交通分科会所属）、航空政策研究会会長等。近著に、『アメリカ分断の現代史』蒼天社出版（近刊）、『航空・空港政策の展望』中央経済社（2021）（ともに共編著）がある。